



四季彩

八景中学校だより
2022. 3. 9
第 16 号
三田市立八景中学校

ご卒業おめでとうございます

3年生は、いよいよ中学校生活の最終週です。一昨日は最後の給食と大掃除、昨日からは式練習が始まりました。慌ただしく過ぎていく日々、「卒業」という実感がにわかに湧いてきたのではないのでしょうか。また、寂しさを感じている人も多いただろうと思います。

4月7日の始業式から今年度がスタート。以降、新型コロナウイルス感染症に振り回されつつも、とにかく前を向いて進んできたきみたち。後輩たちの手本となって頑張る姿に、毎日元気をもらいました。本当にありがとう。

きみたちと過ごした一年を駆け足で振り返ってみましょう。

運動部・総合体育大会 6月19・20日の陸上競技を皮切りに、7月3・4日の三田市大会、そして丹有、県、近畿、全国へと続いていきました。大会の3週間前までは十分な練習ができず、大会自体も開催されるのか不安が募りました。壮行会では、「大会に出られることに感謝して」という言葉がどの部からも出てきて、心に刺さりました。

修学旅行 当初は6月4日からを予定していましたが、10月8日から2泊3日で岐阜・三重方面へ。『Now or never ~みんなに贈る心の岐阜と』のローガンを掲げて出発。大きな成長につながる活動でした。いちばんの思い出は？ 高山、白川郷、ラフティング、洞窟探検、ナガシマスパーランド。いやあ、やっぱり役者ぞろいのレク大会か。



体育大会 9月15日から10月20日に延期。修学旅行の代休が明け、8日後のことでした。『竜攘虎搏(りゅうじょうこはく)~最高の景色を見に行こう~』の横断幕を先頭に全校生徒入場。とても壮観な眺めでした。3年学年種目は、「持続可能な“団結”目標(SDGs)」と名付けられた、テニスボールを介してみんながつながるリレーでした。

文化祭 文化祭テーマは、『Don't Lose ~この時代だからこそできること~』。10月29日に実施。コロナの影響で、合唱を仕上げるだけの練習期間の確保が難しく、できることを模索してボディパーカッションに取り組みました。

また、美術部と家庭部にとっては日々の活動で完成させた作品を展示する機会。心を込めて作った作品が、ところ狭しと飾られていました。

吹奏楽部定期演奏会 11月6日、学校の体育館にて。入場者を家族に限定した演奏会でした。とても温かい空気が漂う会場に、優しさとともに凛とした勇気を与えてくれる八景サウンドが響き渡りました。コロナ禍にもかかわらず、今年も途切れることなく開催。第38回の定期演奏会でした。



球技大会 本来ならドッジボールやサッカー、バレー、バスケなどをやりたいのですが、まん延防止中ということで感染リスクが低い活動で楽しみました。体育館の部（ネットを挟んで身体接触がないバドミントンと卓球）を2クラスと教室の部（それぞれの教室でクイズやレク）を2クラスに分け、前後半入れ替わりで実施。（教室でやったクイズとレクが、ことのほか面白かった。）



3年生を送る会 後輩たちが企画・準備してくれた送る会。たっぷり楽しんだのはもちろんですが、ここにも3年生が新たに創った伝統が息づいていました。ありきたりの映画鑑賞などではなく、放送によるゲーム「八景オリンピック」や劇『八景の子』の動画視聴など、3年生への感謝の気持ちが伝わる手作りの心地よい時間でした。



中学校生活はどうでしたか？（1・2年生も、この機会に一年間を振り返ってみてください。）楽しいことばかりだったかという、決してそうではなかったでしょう。苦しいことや辛いこと、しんどいときや悲しいとき、それぞれの苦難があったと思います。特に、コロナ禍だから……と考えると、「あれができない、これができない」という思いを抱くのはあたり前。しかし、その苦難を乗り越えて、人間は成長していきます。乗り越えようと努力して、人は大きくなっていきます。

コロナ禍で様々な、不便・不足・不自由を感じていることでしょう。不便・不足・不自由から「不」の文字を取り去る努力が、新たな価値を創造することにつながります。新たな価値を創造することは、AIにはできません。今の環境は、人間しかできない新たな価値を創造する力を鍛える絶好の機会といえます。大人も含めて私たちは、直面した課題の解決が困難であればあるほど、解決できない理由を他人のせいにしなくなります。しかし、ひとのせいにしても誰も得するものはいないし、何も解決しません。課題解決に向け自分には何ができるかを考え、一步でも前進させる行動が大切です。

3年生を中心とするこの一年間の活動は、いつも「一步前進」を考えて取り組んでいたと思います。しかも、「大きな一步」となる活動でした。

明日、3年生のみなさんは中学校の教育課程を修了し、八景中学校を卒業します。卒業おめでとうございます。また、9年間の義務教育を終え、4月からはそれぞれの進路先で新たな生活をはじめることになります。義務教育で身につけたことを活かし、人生を切り拓いていくのです。きみたちには無限の可能性があります。その可能性を信じて、与えられた場所で一所懸命に努力を重ねてください。

3年生の保護者の皆様

3年生の保護者の皆様、いよいよお子様のご卒業の日がやってまいりました。明日の卒業式への参加は、たいへん心苦しいのですが感染対策としてお子様1人につきお一人をお願いしております。厳粛な中にも温かく思い出に残る式になりますよう、私たち教職員も誠心誠意取り組んでまいります。保護者の皆様には、これまで本校教育ならびにPTA活動にご理解とご協力をいただきましたこと、深く感謝いたします。お子様が卒業されましても、地域のお一人として、八景中の生徒を温かく見守ってくださいますようお願いいたします。

生きる

谷川俊太郎

生きているということ
いま生きているということ
それはのどがかわくということ
木もれ陽がまぶしいということ
ふっと或るメロディを思い出すということ
くしゃみすること
あなたと手をつなぐこと

生きているということ
いま生きているということ
それはミニスカート
それはプラネタリウム
それはヨハン・シュトラウス
それはピカソ
それはアルプス
すべての美しいものに出会うということ
そして
かくされた悪を注意深くこぼむこと

生きているということ
いま生きているということ
泣けるということ
笑えるということ
怒れるということ
自由ということ

生きているということ
いま生きているということ
いま遠くで犬が吠えるということ
いま地球が廻っているということ
いまどこかで産声があがるということ
いまどこかで兵士が傷つくということ
いまぶんこがゆれているということ
いまいまが過ぎてゆくこと

生きているということ
いま生きているということ
鳥ははばたくということ
海はとどろくということ
かたつむりははうということ
人は愛するということ
あなたの手のぬくみ
いのちということ